

平成31年度

# 授業改善推進プラン



## 立川市立西砂小学校

〒190-0034 東京都立川市西砂町2丁目34番地の2

電話 042-531-2082 FAX 042-531-5269

ホームページ <http://www.tachikawa.ed.jp/es12/>

交通機関・西武拝島線「西武立川駅」下車徒歩10分

・立川バス 昭島駅南口発「松中団地操車場行」乗車、

「西砂小学校前」下車

【学校教育目標】

- 思いやりのある子ども
- ◎自分の考えをもつ子ども
- 健康で明るい子ども

【生活指導の重点】

- ・月別生活目標の指導を通して、自律的な生活習慣を確立し、基本的な社会のルールを身に付けさせる。
- ・教育相談体制や研修を充実し、一人一人の子どもの理解を深め、全教職員でいじめや不登校の早期発見・対応に努める。
- ・安全指導の時間を有効に使い、学校内外の事故や問題行動等を未然に防止する態度を養い解決に努める。
- ・セーフティ教室・交通安全教室・避難訓練・校外パトロール・地域安全マップの作成などを計画的に実施し、児童の危機回避能力を培う。
- ・生活指導の充実を図るため、七中校区スタンダードを策定し、活用する。

【学校経営方針の柱から】

いろいろな人との関わりを通して、学習・生活の両面において、自分の考えをもち、それをすすんで発信し伝え合い、互いに高め合うことができる児童を育成する。

本校における「確かな学力」

- ①基礎的・基本的な知識及び技能
- ②思考力・判断力・表現力等
- ③学びに向かう力 課題発見・解決能力

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む。また、自ら問題を見だし、解決の方向性や解決方法を考え、結果を予測しながら実行し、振り返って次の課題発見・解決につなげていこうとする主体的に学習に取り組む態度を育成する。

【各家庭での取り組み】

- ◆立川七中校区家庭学習時間の励行（学年×10分）
- ◆SNS家庭ルールの作成と実施
- ◆基本的生活習慣の確立（家庭内学習時間・場所の設定、TV・ゲーム機等の使用ルールの設定、読書の習慣等）

○学習指導要領

- 東京都教育委員会教育目標
- 立川市教育委員会教育目標

（学校教育の指針）

- 「学力・体力向上」
- 「特別支援教育の充実」
- 「小中連携教育の推進」

【道徳教育の指導の重点】

- ・全教育活動を通して、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養えるように指導する。
- ・「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「公正、公平、社会正義」「生命の尊さ」の内容項目を中心に児童の実態に応じた様々な工夫をし、児童の道徳性が養われるように工夫する。

【特色ある教育活動の重点より】

- ・豊かな言語活動を育むため「専門家による語り聞かせ」「朝の読書」「読書旬間」等、読書活動の充実を図る。
- ・地域力を活用した農業体験・栽培活動を全学年で実施し、高学年では「多摩武蔵野検定」「救急救命講習」に取り組む等、地域に学び、地域を愛する素地を養う。
- ・地域学校コーディネーターと連携し、地域の特性や地域の人材を活用した体験活動を通して、豊かな人間関係や社会性を培う。
- ・幼保小連携では、未就学児との交流活動を通して、児童には思いやりの心を育ませ、園児の入学後の円滑な適応を図る。
- ・吹奏楽部の活動を校務分掌に位置付け、より多くの教員が関わって活動を充実させることで豊かな情操を養う。

【小中連携教育活動を通して】

- ・中学校区として経営方針を共有し、義務教育9年間を通じた教育課程の円滑な接続（立川市民科・小中連携外国語活動等）を図る。
- ・定期的な管理職の会議や小中の教員による授業参観や研修会を通して児童・生徒の実態を共通理解し、教職員が相互に協力・連携した教育活動の推進を図る。
- ・園児との交流活動や近隣の幼稚園・保育園と教職員の研修参加及び授業・保育活動参観等の相互交流を通して、幼保小連携教育を進め、小1プロブレムの解消と円滑な接続を図る。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「立川スタンダード20」を意識した授業に取り組む。</li> <li>○言語活動を充実させ、児童の思考力・判断力・表現力等を育み、伝え合う力の育成を図る。</li> <li>○朝の東京ベースック・ドリルタイムや朝読書の時間、及び放課後補習教室等を有効活用し、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新学習指導要領の内容を理解し、各教科で取り組む。</li> <li>○適正な授業時数を確保し、計画的な教育活動を行う。</li> <li>○農業体験や栽培活動、キャリア教育など、地域の特性や人材を生かした教育活動を年間を通して計画的に位置付ける。（地域学校協働本部との連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTを活用した授業づくりについて研修・研究を行い、かつICT専門員による支援も得て、授業実践に効果的に生かす。</li> <li>○校内研究、小中連携の際の授業参観等を通して、教師の授業力を向上させる。</li> <li>○相互授業参観（OJT 週間として設定）を核にして、校内におけるOJTを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科の学習後、振り返り活動を行い、児童の自己評価力、相互評価力を高める。</li> <li>○評価規準を適宜見直し、適正な実施を図る。</li> <li>○学校運営協議会や地域、保護者による学校関係者評価や児童による授業アンケートを実施し、教育活動の改善に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に学校を公開し、学校教育への理解を深めていただくとともに、地域の教育力を活用する。</li> <li>○夏季休業中に個人面談を設定し、児童の課題について知らせ、連携を図る。</li> <li>○HPや学校便り、学年・学級通信を通して発信し、連携を図る。</li> </ul>

## 1 本校の目指す学力

新学習指導要領で述べられている通り、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育てていきます。また、自ら問題を見だし、解決の方向性や解決方法を考え、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていこうとする主体的に学習に取り組む態度を育成していきます。

## 2 本校の実態

今年度4月に実施した「全国学力・学習状況調査」及び、7月に実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」、昨年度6月に実施した「東京都 児童・生徒 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」結果から見た、本校児童の学力の実態や学習に関する意識、日常の学習の様子からみた児童の実態は以下のとおりです。

### 《平成30年度 東京都 児童・生徒 体力・運動能力、生活運動習慣等調査》の結果から》

- 体力合計点が東京都の平均より4.4ポイント高いです。一昨年度から引き続き課題としてあげられた種目に対して、体育の授業等で取り組んだ成果が見られました。
- 反復横跳びの記録が、昨年度から引き続いて東京都の平均よりどの学年も上がっています。昨年度校庭にペンキでラインを引き、日頃から敏捷性を高める動きを積極的に取り入れた成果が30年度も見られました。
- 立ち幅跳びは、1学年から3学年が東京都平均より低く、4学年から6学年は高いという結果が出ました。低学年のうちに立ち幅跳びの跳び方を知るとともに、両足で踏み切って跳ぶ運動を日頃から取り入れていく必要があると考えます。
- 1学年から6学年までを通して20mシャトルランのポイントが東京都の平均よりも低かったです。6学年通して低いのは20mシャトルランだけでした。体育の授業等で、瞬発力を高められるような運動を継続的に取り入れていくなどの工夫が必要です。

### 《平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査》の結果から》

#### 〈国 語〉

- 東京都の平均を9ポイント下回りました。
- どの観点も東京都の平均を大きく下回ったことについては、これまでの日直のスピーチ以外にも「話す・聞く」活動を意図的に取り入れることや、定期的に自分の考えを書く活動を取り入れることが必要と言えます。
- 言語事項に関しては、これまで以上に辞書を活用し、使える語彙を増やす必要性を感じます。読書はもちろん、言葉に着目させる指導を継続していきます。

#### 〈社 会〉

- 東京都の平均を約10ポイントを下回りました。
- 「知識・理解」に課題が見られます。論理的に物事を考えさせるとともに、学習していることと日常生活の様々な事象が関連していることについて考えさせる授業の工夫が必要と言えます。

#### 〈算 数〉

- 「思考・判断・表現」が東京都の平均を大きく下回り、課題が見られます。数量や図形の性質について考察する力や、数学的な表現を用いて的確に表現する力を身に付ける必要があります。
- 他教科に比べて、基礎基本の定着が不十分であると考えられるので、東京ベーシック・ドリル等を有効活用して基礎・基本の定着を図る必要があります。

#### 〈理 科〉

- 「技能」の結果が61.3ポイントで、観察、実験などに関する基本的な技能を定着させる必要があります。
- 「思考・判断・表現」の結果が46.8%と課題が見られます。観察・実験を通して、科学的に問題を日常生活と結び付けて考えたり、表現したりする力の育成を図る必要があります。
- 「知識・理解」の結果も47.6%でした。問題解決の過程の中で理解を深め、知識が獲得できるように学習活動を組む等の工夫が必要と言えます。

### 《平成31年度 全国学力・学習状況調査》の結果から》

#### 〈国 語〉

- 他の評価の観点に比べて、読む能力の平均正答率が78.4ポイントの達成状況です。既習事項を身に付け、その知識を活用する力が身に付いていると言えます。
- 評価の観点で観ると、言語についての知識・理解・技能の問題の平均正答率が全国平均値を11.8ポイント下回っており、課題があります。

#### 〈算 数〉

- 数量や図形についての知識・理解の問題の平均正答率が全国平均値を0.2ポイント上回っています。特に、台形の面積の求め方などについて理解していると言えます。
- 全体的な傾向として、平均正答率が全国平均値より1.6ポイント下回っています。特に、加法と乗法の混合した

整数と小数の計算についての理解に課題があります。

《日常の学習の様子》○：成果 ●：課題

一 年	国語	○平仮名 50 音の表記は、9 割の児童に定着しています。読み取りは、問いと答えの文を理解し、根拠を明確にした簡単な文を書くことができるようになってきています。 ●音読では、平仮名の拾い読みをしている傾向が 3 %程度見られます。
	算数	○10 までの加法は、ほとんどの児童に定着しています。 ○図や具体物を活用して、問題を作ったり解いたりする習慣が身に付いています。 ●10 までの減法は、定着している児童が 7 割程度です。ちがいを求める文章問題は、文章を正しく理解し、立式できる児童は 5 割程度です。 ●答えの単位を正しく書ける児童は 5 割程度です。
	生活	○あさがおを育てることにとっても意欲的でした。 ○季節が変わった時の植物や虫などの様子の変化を感じ取ることができています。 ●他者に考えを伝える、表現方法が限られています。
	音楽	○楽しんで音楽の学習に取り組んでいます。 ○大きな声で、意欲的に歌うことができます。 ○手や楽器を使ったリズム打ちや曲に合わせて体を使う表現活動をして、楽しみながら活動することができています。 ○鍵盤ハーモニカの練習時間を必ず確保して、演奏する力を少しずつ伸ばすことができました。 ●鍵盤ハーモニカの正しい運指に課題がある児童が多いです。 ●タンギングをまだ苦手とする傾向が見られます。
	図工	○楽しんで活動に取り組んでいます。 ●用具を正しく使い、想像をふくらませて活動することに課題があります。
体育	○体つくりの運動遊び・鬼遊び・固定施設を使った運動遊びなどに、意欲的に取り組んでいます。 ○1 年生の発達段階に応じた教え合いの活動が見られます。 ○ルールや安全に気を付けながら授業に取り組むことができています。 ●自分の体を自分で支えられない場合が見られます。 ●固定施設を使った運動遊びに対して、苦手意識が見られます。	
二 年	国語	○物語や説明文の内容の大体を理解しながら読むことができます。 ●話し手が知らせたいことを、落とさないように聞くことに課題があります。 ●句読点や「」の使い方、原稿用紙の使い方の理解に課題があります。 ●学習した漢字を、文章の中で適切に書き表すことに課題があります。
	算数	○繰り上がりのあるたし算と繰り下がりのあるひき算の筆算の計算方法は定着してきました。 ●「時こくと時間」の学習は「時こく」と「時間」を区別して問題を解決することを苦手とする傾向が見られました。 ●文章問題を正しく読解して演算決定をすることに課題があります。
	生活	○町たんけんやミニトマトを育てるなど、活動の多い授業は、子供たちもめあてが分かっているので意欲的に取り組むことができます。 ●活動の方に重きがあったので、考えさせる取り組みを大切にしていける必要があります。
	音楽	○意欲的に学習活動に取り組み、楽しく歌ったり、リズム遊びをしたりすることができます。 ●鍵盤ハーモニカの指使いやタンギングの仕方に課題が見られます。
	図工	○友達の作品のよさに気が付き、認めることができます。 ●用具の使い方に慣れていない傾向があります。
体育	○鬼遊びや水遊びなど、身体を動かすことに意欲的に取り組むことができます。 ●鉄棒運動などを苦手とする傾向が見られます。	
三 年	国語	○意欲的に学習に取り組み、自分の考えを書いたり発表したりすることができます。 ○言葉の意味や使い方を理解しようと、辞書引きに進んで取り組んでいます。 ●文章に既習漢字を取り入れずに書く傾向があります。 ●伝えたいことを相手に分かりやすく伝えることが課題です。
	社会	○新しい学習に対し、意欲的に取り組むことができています。 ●資料から分かることを読み取る力の個人差が大きいです。また、分かったことを自分の言葉でまとめる力に課題があります。 ●東西南北など、学んだことを意識して生活していない傾向があります。
	算数	○基礎・基本の定着を図るために、計算練習に意欲的に取り組んでいます。 ●文章題から場面を想起し、立式する力については個人差が大きいです。問われていることを理解していない場合があります。 ●既習事項を活用する力に差があります。

		●問題に対して向き合えない児童がいます。
理科		○観察や実験に対して、意欲的に取り組むことができます。 ●観察や実験の結果から考察する力に課題があります。 ●どのような実験をすれば解決できるか予想を立てる力に差があります。
音楽		○学習に対する関心が高く、意欲的に音楽活動に取り組んでいます。 ●リコーダーの演奏技能の個人差が大きいです。 ●曲想にふさわしい歌声で歌う技能に課題があります。
図工		○意欲的に取り組む児童が多いです。発想豊かに、思いをもって取り組んでいます。 ●確認しなければ制作に進めない児童が多く、自分で考えて行動することに課題があります。絵の具も継続的に使用して習得していく必要があります。
体育		○楽しみながら体を動かし、向上心をもって取り組むことができます。 ●鉄棒運動やマット運動を苦手とする傾向があります。
外国語		○興味・関心をもって、楽しみながら英語を使って友達とやりとりをすることができます。 ●みんなに聞こえる声で発話することに課題が見られます。
四年	国語	○登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に捉えることができます。 ●中心となる語や文を見つけて要約することに課題があります。 ●言葉の抑揚や強弱、間の取り方を意識して話すことに課題があります。 ●既習の漢字の定着に課題があります。
	社会	○学習したことを社会生活に生かそうとしています。 ●必要な情報を集める技能や資料を見比べながら、気付いたことをまとめる力に課題があります。
	算数	○自ら問題を見だし、解決しようとする意欲が見られます。 ●目的に応じてデータを集めて分類整理する力に課題があります。 ●平面図形に関わる知識や作図の技能に課題があります。 ●問題場面の数量の関係に着目して立式することに課題があります。
	理科	○観察や実験を通して、問題を解決しようとする意欲が見られます。 ●観察や実験の結果から考察する力に課題があります。
	音楽	○拍を意識しながら、音楽を体で感じて楽しんでいます。 ○曲に対する思いをもち、表現しようとしています。 ●感じたことや鑑賞したことを音楽の言葉で表現することに課題が見られます。
	図工	○技能の高い児童が多く、用具や材料の使い方が身に付いてきています。 ●発想を広げるのに課題があります。
	体育	○安全に気を付けながら、進んで運動に取り組むことができます。 ○友達のアドバイスを聞くことで、動きのポイントをつかむことができます。 ●苦手な運動に対して消極的になってしまう傾向があります。
	外国語	○動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、基本的な表現を用いながら伝え合うことができます。 ●人前での発表となると、消極的になる傾向があります。
五年	国語	○自分の考えをもち、少人数での話し合いをスムーズに行うことができます。 ●丁寧に文字を書かないことで、正確に漢字を覚えられていないことがあります。
	社会	○日本の地形や気候などに興味をもち、進んで課題に取り組むことができます。 ●近隣諸国の国名や6大陸・3海洋の名称や位置などの知識に課題があります。また、資料の読み取りに課題が見られます。
	算数	○習熟度別の学習により、それぞれの課題に合わせて学習に取り組むことができます。 ●「小数のかけ算」「小数のわり算」において、小数点の処理に対する理解が不十分です。 ●文章問題から自力で立式することに課題が見られます。
	理科	○友達と協力し合い、意欲的に実験に取り組むことができます。 ●条件を整理しながら実験方法を考えたり、結果から自然事象の性質や規則性を理解したりすることに課題が見られます。
	音楽	○互いの音を聴きながら演奏しようとする姿が見られます。 ●思いや意図をもって表現することに消極的な児童がいます。 ●感じたことや鑑賞したことを音楽の言葉で表現することに課題が見られます。
	図工	○友達の作品についての興味・関心が高く、良さを認め合いながら鑑賞していく姿が見られます。 ●発想を広げることを苦手とする傾向が見られます。
	家庭科	○調理器具や裁縫道具などを積極的に使い、意欲的に取り組むことができます。 ●裁縫・調理などの実習では、個人差が大変大きいです。

	体 育	○ペア学習をすることで、教える側と教えられる側の双方の技能が伸びています。 ●ボールを投げる力に課題が見られます。
	外国語	○外国語に興味・関心をもって、自ら進んで授業に臨み、楽しみながら英語を使って友達とやりとりをすることができています。 ○振り返りカードを活用し、効果的に自己評価することができています。 ●自信をもって表現することに課題が見られます。
六 年	国 語	○自分の考えをまとめ、すぐに文章に表せるようになってきました。 ●少人数での話し合いが意見の発表会になっており、深めるところまでいきません。
	社 会	○歴史の学習に興味・関心が高く、調べ学習等に進んで取り組んでいます。 ●人物名、業績、時代背景などの知識が定着していないところがあります。
	算 数	○習熟度別の学習を行うことで、それぞれの課題に合わせて授業を進め、意欲的に学習に取り組むことができています。 ●前学年までの既習事項の定着に課題があり、四則演算でつまずきが見られます。 ●問題場면을正しく把握し、立式することに課題が見られます。
	理 科	○安全に気を付けて、意欲的に観察、実験を行うことができています。 ●実験結果から得られる規則性や性質を正確に捉えたり、考察したりすることに課題が見られます。
	音 楽	○互いの声や音、パートの役割を意識して、合わせて演奏できます。 ●パートなど少人数の学習の中で、意見を交わしながら表現を工夫することに課題が見られます。 ●音を根拠にして、思いや意図を自分の言葉で表現することを苦手とする傾向が見られます。
	図 工	○発想力が高い児童が多く、試行錯誤しながら制作を進める事ができます。 ●技能が伴わず、イメージしたことを表現しきれない場合があります。
	家庭科	○調べ学習・話し合い・実習等、意欲的に取り組む児童が多いです。 ●実習の技能や、学習したことを生活に活かそうとする意識に個人差が見られます。
	体 育	○体を動かすことを楽しみ、体力を高めようとする児童が多いです。 ●好きな児童とそうでない児童、得意な児童とそうでない児童が二極化しています。
	外国語	○楽しみながら授業に臨むとともに、英語教育の必要性を考えながら取り組む児童が多いです。 ●英語で言えるところでも、日本語で話してしまうところがあります。

### 3 授業改善策

「全国学力・学習状況調査（平成31年度）」「児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果（平成31年度）」「日常の学習の様子」を踏まえ、2学期以降の児童の学力向上に向けて、次のような授業改善を図っていきます。

## <国 語>

#### <学校全体での取り組み>

- ・ノートの書き方を全学年で共通理解し、系統的に指導する。振り返りがしやすいノート作りをさせる。
- ・自分の考えを広げたり深めたりするために、交流活動を効果的に取り入れる。
- ・自分の国語辞典をいつでも活用できるように、身近に置くことで語彙を増やす。
- ・朝読書、読書記録カード、読書旬間等、読書推進活動を充実させる。
- ・言語活動や読書活動を充実させ、言葉がもつよさを感じられるようにする。

#### <各学年の取り組み>

##### 1年

- ・平仮名や片仮名、漢字を正しく使って文章を書くことができるよう、日記の宿題に週1回取り組ませる。
- ・「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」などの項目を掲示し、意識して話す練習をさせる。
- ・言葉の意味を考えながら文章を読むことができるよう、音読の宿題を毎日出すなど読む機会を増やしていく。音読発表会を行い、意欲的に音読に取り組むことができるようにする。
- ・根拠を明確にした簡単な文を書くことができるように、ヒントカードなど教材を工夫する。
- ・考える時間、話す時間、発表する時間を設定し、自分の考えを明確にできるようにする。
- ・好きな本に出会い、楽しんで読書に取り組めるようにする。

##### 2年

- ・文章の読み取りを深めるため、大切な言葉や表現に着目させ、線を引いたり視写したりさせる。
- ・自分の考えをもって相手の話を聞かせ、質問したり、感想を発表したりする活動を取り入れることで、集中して話を聞けるようにする。

- ・促音、句読点、「」や段落に気を付けながら視写する活動を取り入れる。
- ・言葉集めや、既習漢字を使った文章を書く機会を意図的に設定していく。
- ・好きな本に出会い、楽しんで読書に取り組めるようにする。

### 3年

- ・音読を毎日の宿題で取り組み、言葉の意味を考えながら文章を読むことができるようにする。
- ・辞書引きを継続的に取り入れ、語彙力の向上を目指す。
- ・5W1Hを指導して、簡潔に伝えられるようにする。
- ・様々な分野の本に触れ、幅広く読書に取り組めるようにする。

### 4年

- ・文章の一部を引用して、分かったことを説明させる活動を意図的に設定する。
- ・ICTを活用しながら、自分や友達の発表の様子を録画し、観点に沿って振り返らせる。
- ・ノート指導の際に既習の漢字を使うように徹底する。
- ・様々な分野の本に触れ、幅広く読書に取り組めるようにする。

### 5年

- ・新出漢字の指導の際に、書き順、形、意味や同音異義語等を丁寧に指導することで漢字に対する児童の興味・関心を高めるとともに、漢字テストでの採点基準を明確にし、何を気を付ければよいか児童が理解できるようにする。
- ・読書活動を充実させ、進んで読書に取り組めるようにする。

### 6年

- ・話型を提示する。
- ・自分で考える時間、話し合う時間を確保する。
- ・読書活動を充実させ、進んで読書に取り組めるようにする。

## <社 会>

### <学校全体での取り組み>

- ・問題解決的な学習を通して、資料を活用しながらよりよい社会について考え、まとめる力を育てる。
- ・体験的な学習や資料を活用して、児童の興味・関心を高め、問題を発見する力を育てる。
- ・地図帳を効果的に活用して、地図の読み取り方や都道府県の位置の定着を図る。

### <各学年の取り組み>

#### 3年

- ・資料活用の力を育て、調べ学習や調べたことをまとめる際に生かせるようにする。
- ・地図の読み取り方や地図記号の知識を定着させるため、繰り返し練習させる。

#### 4年

- ・課題解決に適した映像資料や分かりやすいグラフなどを準備し、資料の読み取り方の指導を徹底する。
- ・資料から読み取れる事実と、学習課題に対する考えを書かせる活動を設定する。
- ・意図的な発問をし、児童の疑問をもとに学習問題を設定し、話し合いの必然性を感じられるようにする。

#### 5年

- ・日本地図、世界地図を教室に掲示する。
- ・地図帳を効果的に活用する。
- ・動画を効果的に活用し、産業の発展に気付かせる。
- ・資料を正しく読み取り、そこから課題を見付ける授業を取り入れる。

#### 6年

- ・年表を活用したり、調べたことを視覚化したりしていくことで、人物を中心とした業績や時代背景のつながりを意識しながら学習できるようにする。
- ・資料を効果的に活用し、政治や国際社会における我が国の役割を考えながら学習できるようにする。

## <生活>

### <学校全体での取り組み>

- ・体験活動や、縦割り活動など集団での活動を大切にし、そこでの交流を通じて個人の生活力やコミュニケーションの力を育む。
- ・人、地域、自然との関わりを意識した学習を工夫する。
- ・学習の中に意思決定する場面を多く設定し、児童がその課題達成のためにどのような工夫を講じたら実現できるかを交流の中で考え計画させ、問題解決に向かわせる。
- ・事後の振り返りを丁寧に行い、次への課題解決の力とさせる。

### <各学年の取り組み>

#### 1年

- ・異学年との交流活動をさらに活発にし、コミュニケーション能力や自己決定力を高める手立てを設定していく。
- ・実際に見たり、体験したりする活動を通して、自然の様子や四季の変化などを感じ取る力を養わせる。
- ・様々な表現方法（クイズ、紙芝居、ポスターセッション等）を取り入れ、考えを共有し、学び合いながら問題解決に向かわせる。
- ・栽培活動を通して、満足感や達成感を味わうことができるようにする。

#### 2年

- ・1年生との交流活動をこれからも継続させ、1年生に分かりやすく親切に伝える工夫をしながら、上級生としての上手なコミュニケーションの仕方の入り口を体験させる。
- ・観察や体験の中で分かりやすい気付きや変化の視点を与え、それらをまとめる文章や絵を工夫して記述し、交流や発表につなげ自己実現の進展を図る。
- ・栽培活動を通して、満足感や達成感を味わうことができるようにする。

## <算数>

### <学校全体での取り組み>

- ・正しく立式する力を付けさせる。
- ・既習の学習内容を生かして問題を解決する力を付けさせる。
- ・ものの数に着目し、具体物や図などを用いて、数の数え方や計算の仕方を考えさせる。

### <各学年の取り組み>

#### 1年

- ・加法、減法の計算問題を宿題で出し、授業でも反復して練習し、定着を図る。
- ・問題を正しく理解できるように、図や絵で表現させる活動を行う。
- ・具体物と数字を関連させ、問題解決する活動を充実させる。

#### 2年

- ・筆算の書き方を定着させ、正しく計算できる力を付けさせる。
- ・日常生活の中で「時刻」と「時間」の違いを意識させる機会を多く設定し、2つの違いを区別できるようにする。
- ・たし算とひき算の「キーワード」を見つけて演算決定をする練習を多く取り入れる。

#### 3年

- ・基礎的、基本的な内容の確かな定着を図るために、東京ベーシック・ドリルや宿題などを活用する。
- ・児童の習熟度やねらいに応じて問題解決型の学習を取り入れ、自分の考えをもつことができるようにする。
- ・どんな方法で解決できそうか予想を立てさせる。
- ・問題で何が問われているか、大切な部分にアンダーラインを引いたり、囲んだりすることで、意識させる。

#### 4年

- ・結果の見通しを立てさせることにより、観点をはっきりさせて分類整理させる。
- ・図形の性質に着目させながら、統合的に見る力を育成する。
- ・立式する際に根拠を問う場面を意図的に設定する。

#### 5年

- ・東京ベーシック・ドリルや復習プリントを活用して、繰り返し練習を行い、定着を図る。
- ・数直線や表、図など、様々な手段を活用して、立式できるようにする。

#### 6年

- ・東京ベーシック・ドリルを活用して、繰り返し練習させる。
- ・数直線や図を活用し、根拠をもって演算決定できるようにする。



## <理 科>

### <学校全体での取り組み>

- ・観察や実験の結果を整理し、考察する活動や根拠を明確にして話し合う活動を充実させ、体験と知識を結び付ける。
- ・学習内容と日常生活との関連を図り、自然の事物、現象について、実感を伴った理解ができるようにする。
- ・単元に応じて観察、実験などを行い、問題解決型学習を取り入れながら授業を進め、主体的に学習に取り組めるようにする。

### <各学年の取り組み>

#### 3年

- ・観察や実験を生かし、体験的な活動を通して、学習内容の定着を図る。
- ・課題に対して予想や結果をノートに書かせ、思考をめぐらせる時間を十分に確保する。また、理由を付けて説明できるようにグループで対話をさせながら考えさせていく。
- ・共通点や差異点を捉え、問題を見いだす力を育成する。

#### 4年

- ・実験や観察、話し合いの時間を十分に確保し、多様な観点から物事を捉えられるようにする。
- ・考察する際に視点を明確にしたり、書き出しの言葉を示したりすることで、自分の考えをまとめられるようにする。
- ・実験の際に、根拠のある予想や仮説を発想し、問題解決の力を育成する。

#### 5年

- ・「変える条件」「同じにする条件」を明確にして、実験方法を考えさせる。
- ・観察や実験の結果から考察する時間を十分に確保したり、日常生活と関連付けて考えさせたりすることで、理解が深まるようにする。
- ・予想や仮説を基に、解決方法を発想し、問題解決の力を育成する。

#### 6年

- ・結果の予想や実験方法を考えたり、実験結果から分かることを考察したりする時間を十分に確保する。
- ・日常生活と関連付けて考えさせることで、学習内容の定着を図る。
- ・問題解決の場面で、より妥当な考えをつくり出せるようにする。

## <音 楽>

### <学校全体での取り組み>

- ・生き生きと表現するための基礎的な能力を育てる。
- ・思いや意図をもって表現したり工夫したりする児童を育てる。
- ・友達と関わりながら表現を深めていくような音楽活動を目指す。

### <各学年の取り組み>

#### 低学年

- ・音楽活動に親しみ、楽しみながら取り組めるように、楽器や体を使った表現活動を取り入れていく。
- ・鍵盤ハーモニカの学習を毎時間の中に20分以上は設定し、タンギングと正しい運指の定着を図る。
- ・鍵盤ハーモニカの運指の拡大紙を貼って、児童が分かりやすい掲示を工夫する。

#### 中学年

- ・リコーダーの学習を毎時間継続的に行い、基礎的な演奏技能の定着を図る。
- ・少人数や1人で吹く時間を設定し、個人の達成度を確認するとともに、個々で表現する経験を積み重ねさせる。
- ・様々な表現方法を試しながら、ふさわしい歌声を選択し表現できるようにする。
- ・感じたことを音楽の言葉で表現できるように、曲想を表現できる言葉や「音楽のもと」を掲示し、活用させる。
- ・進んで学習に取り組めるように、学習のめあてを明確にし、見通しをもって取り組めるようにする。

#### 高学年

- ・ペア学習やグループ学習を通して、表現を互いに聴き合い、それぞれの表現のよさを認め、深められる場を設定していく。
- ・曲想や楽曲の感じを表す言葉を増やし、どのような音楽表現にするかについて、自分の言葉で思いをもたせられるようにしていく。また、音楽を言語に結びつけるようにしていく。
- ・児童の実態に即した合唱や合奏教材を選択することで、主体的に学習に取り組めるようにするとともに、友達と協働して音楽を楽しむ態度を育成する。

## <図 工>

### <学校全体での取り組み>

- ・材料や用具の正しい使い方を身に付けさせる。
- ・進んで表したいこと見付けて、表すことができるようにする。
- ・作品の鑑賞では、自分と友だちの作品の違いのよさや面白さに気付かせ、鑑賞の楽しさを味わうことができるようにする。
- ・意欲的に取り組めるように導入を工夫する。

### <各学年の取り組み>

#### 低学年

- ・用具の置き方や正しい使い方を、視覚的に分かるように示す。
- ・いくつかの例を示したり、児童の作品を紹介したりする。
- ・発想が膨らまない児童に、他の児童の作品を鑑賞する交流タイムを設ける。

#### 中学年

- ・用具の使用方法を継続的に学習させ、基礎的な力を身に付けるようにする。
- ・ICTを活用し、児童の発想が広がるように参考作品や資料を幅広く揃える。
- ・鑑賞で対話や発表を意図的に用いて自分の作品の良さに気付かせ、互いの表現を大事にさせる。

#### 高学年

- ・材料や用具を自分で考えて、自主的に使用できるようにする。
- ・発想が広がるように参考作品、資料を幅広く揃え、ICTなどを活用する。
- ・鑑賞で対話や発表を意図的に用いて自他の作品の良さに気付かせる。

## <家 庭>

### <学校全体での取り組み>

- ・基礎的、基本的な知識や技能を身に付けさせる。
- ・学習したことを家庭生活に生かそうとする実践的態度を育てる。
- ・食事の役割や栄養を考えた食事のとり方、調理の学習等を通して食育の推進を図る。
- ・グループで協力して作業や活動をすることで、助け合い認め合い、自信をもって日常生活に活用しようとする意欲を育てる。

### <各学年の取り組み>

#### 5年

- ・調理や裁縫の基本を重点的に取り組ませる。
- ・授業の中で自分自身の生活を振り返る時間をつくり、学習したことを生活に取り入れようとする態度を育てていく。
- ・5大栄養素の種類と働きや栄養を考え、食事をとることの大切さについて理解させる。
- ・楽しく実習(調理・裁縫)に取り組む態度を養うために、実生活に生かされるよさと活動のめあてを明確にする。

#### 6年

- ・実践的、体験的な学習を行い、基本的な技能を身に付けさせていく。
- ・学習したことを自分自身の生活の中に、どのように取り入れていくかを考える時間を設け、生活を豊かにしようとする態度を育てていく。
- ・5大栄養素を確認し、1食分の献立の立て方や調理を通して理解を深めさせる。
- ・進んで家庭生活をよりよくする工夫を考える態度を養うために、毎回の振り返りを行っていく。

## <体 育>

### <学校全体での取り組み>

- ・「体づくり運動」や「体づくりの運動遊び」の指導計画を見直し、自分の思うように体を動かすための素地を養い、意図的にボールを使った運動を取り入れて、投げる力の向上も図っていく。
- ・学習カードを使い、技能面のポイントを分かりやすく示して日常的に運動に触れる時間を増やしていく。自分たちで意欲的に取り組めるように、授業以外でも使えるようにしていく。
- ・ICTを効果的に活用し、技のポイントをつかませ、教え合いを充実させる。
- ・ゲストティーチャーを招き、オリンピック・パラリンピック教育の充実を図る。

#### <各学年の取り組み>

##### 1年

- ・運動量を確保し、体を支える等の基本的な動きを身に付けさせる。
- ・児童の実態に応じた動きや技を工夫させる。
- ・スモールステップで、簡単なものから提示して、楽しんで技に取り組めるようにする。

##### 2年

- ・自分たちで意欲的に取り組めるように、授業以外でも使える学習カードなどを使い、日常的に運動に触れる時間を増やす。

##### 3年

- ・体づくり運動「体ほぐしの運動」や「多様な動きをつくる運動」を取り入れて、自分の思うように体を動かすための素地を養う。
- ・学習カードなどを用いて、技能面のポイントを分かりやすく示す。

##### 4年

- ・ICTを活用しながら、技のポイントをつかませる。
- ・児童の実態に応じて練習の場を工夫することで、安心して活動できるようにする。

##### 5年

- ・体づくり運動「体の動きを高める運動」でボールを使った運動を意図的に取り入れ、投げる力の向上を図る。
- ・ICTを効果的に活用することで、技のポイントをつかませたり教え合いを充実させたりする。

##### 6年

- ・運動のよさや方法について分かりやすく説明し、児童が運動の取り組み方について理解できるようにする。

## <外国語>

#### <学校全体での取り組み>

- ・児童が、安心して、楽しく和やかに学習できる環境づくりを行う。
- ・児童が、思わず聞いたり話したりしたくなるような指導計画を立案し、英語を使う必然性を感じるような実践をする。
- ・児童が、世界には様々な国の言語や文化があることを理解できるよう、ALTと連携した指導を行う。

#### <各学年の取り組み>

##### 中学年

- ・児童が声を出す機会を多く設定し、英語で話すことへの抵抗を少なくする。
- ・活動の形態を工夫して、児童が互いによいところを認め合う活動を取り入れる。
- ・児童に繰り返し発音させるだけでなく、思わず質問したり答えたりしたくなるような必然性のあるやり取りの場面を設定することで、児童が主体的に楽しく活動に取り組めるようにする。

##### 高学年

- ・チャンツや歌等を利用して、英語表現に慣れ親しませる。
- ・教材を工夫して、英語での表現に十分に慣れ親しませ、児童が安心して活動できるようにする。
- ・英語でのやりとりの必要性について理解させるとともに、自然なコミュニケーション活動の生まれる必然性のある場面を設定する。